

演屋祭



シアター・エンヤ初の映画祭、開幕。

「THEATER ENYA ×LiveS Beyond 映像作品アワード」の受賞作品
の上映や、ティーチイン、授賞式… 2日間にわたる映画祭！

2021. 5.1 sat – 5.2 sun

■ プログラム

※5/1,5/2 共通。 ※上映作品の詳細は裏面をご覧ください。

| 10:30 ~ 10:55 | 11:10 ~ 12:10 | 13:30 ~ 14:15 | 14:30 ~ 15:30 | 15:50 ~ 17:00 |
|-------------------------------|--|---|--------------------------------------|--|
| 「唐津湾 Culture」 上映 7 分 & トーク | 「市民の心意気と輪島塗の職人技 鮮やかによみがえる誠」 「唐津の風景と文化を世界に発信 ～唐津映画「花籠」-HANAGATAMI-」 上映 40 分 & トーク | 映像作品アワード 地元クリエイター支援 LiveS Beyond 特別賞 2 作品 上映 25 分 & トーク | 映像作品アワード 入賞 5 作品 上映 40 分 & トーク | 映像作品アワード 金・銀・銅賞 3 作品 授賞式 ※5/2のみ 上映 40 分 & トーク |

チケット
(1日券・入退場自由)

当日券 1,200 円

前売券 1,000 円

3歳～学生 500 円

※チケットは両日共通ではございません。
1枚につき、1名/1日となります。
※学生は学生証をご提示ください。



唐津に 22 年ぶりに復活した映画館「THEATER ENYA」と佐賀県が展開するリアルとオンラインを融合した文化芸術祭「LiveS Beyond」がコラボで制作した唐津にまつわる映像作品と全国のクリエイター向けに実施したアワードで入賞した映像作品を一挙公開する自主上映会。全国から集まった珠玉の映像作品の製作者の作品にかける思いを聞くティーチイン＆授賞式も開催。是非映画祭に足をお運び頂き、全国から集まったクリエイターの皆さんを応援下さい！

最新情報はこちらの公式ページよりご覧いただけます。

0955-53-8064 <https://theater-enya.com/>
0955-72-3288 info@theater-enya.com

〒847-0045 佐賀県唐津市京町 1783 KARAE 内1F

「映画ランド」のアプリをダウンロードしてポイントをためよう！ 映画を1回観るごとに1ポイントたまり、15 ポイントで映画鑑賞が1回無料になります。 アプリはスマホから無料 DL できます。



THEATER ENYA

演屋祭 上映作品

「希望」「唐津」「佐賀」をテーマに、珠玉のショートムービーが観られる機会！

THEATER ENYA × LiveS Beyond 映像作品アワード受賞作品



「ヴィスコンティに会いたくて」
瑚海みどり／17分



「BEFORE/AFTER」
GAZEBO／11分



「レドモキト」
江口陽向／10分

商業映画デビューのために大事にしてきた企画をアイドルに取られそうになって追い込まれる自主映画ばかり作っている中年女監督。引きこもりの過去もある彼女は、弟に励まされて、決意をする。

この後、世界中に新型コロナウィルスが蔓延することなど知る由もなく、川久保晴は一人芝居の脚本の締め切りに追われていた。そこに突然、もう一人の自分と名乗る者が現れる。彼女は一体どこから、なんのために現れたのか。

起こしてしまった失敗をやり直す為、謎の少女に貰ったタイムリープ券を使って過去に戻るも、また失敗。とうとう最後の一枚に希望を託す事になり・・佐賀県唐津市高島を舞台に展開する新感覚タイムリープストーリー。

地元クリエイター支援 LiveS Beyond 特別賞



© 2021 StudioNon-sense.

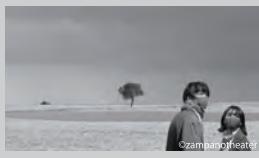
「SAGA NOTE」
Studio:non-sense／5分



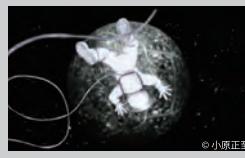
© 日々だんだん

「日々だんだん」
栗田真和／19分

—入賞作品—



「樂園の船」
渡邊高章／7分



「AYESHA」
小原正至／6分



「卵守(たまごもり)」
カツヲ／10分



「A Tasty Fish」
訊呂千尋／8分



「いっしょにねたろか?」
たくあん／9分

授賞式 5.2 sun

授賞式は5/2のみ開催。
受賞者によるティーチインは
5/1, 2の両日予定！

※ゲストが参加しない時間もございます。

THEATER ENYA × LiveS Beyond コラボ制作作品



「唐津の風景と文化を世界に発信
～唐津映画「花筐」-HANAGATAMI-」

唐津ケーブルテレビジョン／20分



「町民の心意気と輪島塗の職人技
鮮やかによみがえる鯱」

唐津ケーブルテレビジョン／20分



「唐津湾 Culture」

坂本諒平／7分

「尾道3部作」など、郷愁をはらんだ映画を撮り続けた大林宣彦監督が、肺がんと闘いながら、戦前の唐津を舞台に青春の儚さと戦争の愚かさをうたい上げた映画「花筐」。2016年夏、唐津全土でロケが敢行され、大勢の市民ボランティアやエキストラが参加、唐津くんちの曳山14台が全面協力しました。番組では当時を振り返りながら、作品が伝えるメッセージを紐解きます。

2019年11月から行われた唐津くんちの曳山「13番曳山主町鯱」の保存修復工事。日本の伝統芸品「輪島塗」の職人が手がけた鯱、調査から下地補修、上塗り、箔押しまでの作業工程や職人のインタビューや、鯱が誕生した背景にある中島嘉七郎氏のエピソードを織り交ぜながら、町民たちの鯱に対する思い、鯱を手がける職人たちの心意気を伝えます。

海にいだかれたまち、唐津。浜崎海岸、東の浜、西の浜、自然の造形美が美しくサーフィン発祥の地でもある立神岩から波戸岬まで、多彩な表情を持つ唐津の海には、幅広く楽しめるマリンスポーツや、普段出会う事のできない絶景があります。世界的な素潜りの名手だったジャック・マイヨールも愛した唐津の海。様々なマリンアクティビティを通して、その魅力に迫ります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、ご来場の際は必ずマスクの着用をお願いします。マスクを着用されていない場合、ご入場をお断りする可能性もございます。

(マスクをお持ちでない場合は受付にてマスクを1枚50円でご購入いただけます。)

※新型コロナウイルスの影響により、内容が変更、または中止になる可能性もございますので、予めご了承ください。